



JAPAN ACCOUNTING ASSOCIATION

日本会計研究学会第80回大会 研究報告要旨集

2021(令和3)年 9月8日(水)～10日(金)

統一論題テーマ

新時代の会計

九州大学

KYUSHU UNIVERSITY



JAPAN ACCOUNTING ASSOCIATION

日本会計研究学会第80回大会 研究報告要旨集

2021(令和3)年 9月8日(水)～10日(金)

統一論題テーマ

「新時代の会計」

日本会計研究学会第80回大会 開催にあたって

第80回大会準備委員会
委員長 大石 桂一

日本会計研究学会会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、九州大学を主催校として、日本会計研究学会第80回大会をオンラインで開催させていただくことになりました。今大会は九州大学を会場として対面で開催することを前提に準備を進めて参りましたが、新型コロナウイルスの感染収束に目処が立たないことから、やむなく昨年度に引き続きオンラインでの開催に変更することとなりました。ご迷惑をおかけして申し訳なく存じますが、これも会員の皆様の安全を確保しながらも、研究機会をできるかぎり維持することを考えたうえでの結論ですので、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

諸般の事情から、例年実施されている特別講演等の催しは中止せざるを得ませんでした。一方、特別委員会報告およびスタディ・グループ報告は、昨年実施できなかった報告を含め、それぞれ3つの報告が行われます。

新型コロナウイルスは社会の有り様を大きく変えました。その影響は会計研究にも及ぶはずです。そうしたことから、今大会の統一テーマを「新時代の会計」といたしました。昨年の第79回大会の統一テーマ「会計思考の継承と発展」を受けて、ポストコロナ・ウィズコロナの時代の新しい会計を展望したいとの考えからです。統一論題報告・討論は4つの会場で行われます。座長、報告者、および大会参加者の皆様とともに、将来に向けた活発な議論がなされることを願っております。

国際セッションには、この困難な状況にもかかわらず、韓国会計学会および台湾会計学会の会長と会員の方々に今年もご参加いただけることになりました。日本会計研究学会からの報告を含め、5つの英語での報告を予定しております。準備にご尽力いただいた国際交流委員会の先生方に御礼申し上げます。

そのほか、多くの自由論題報告・院生セッション、およびASBJセッションも予定されております。ASBJセッションでは、企業会計基準委員会の小賀坂敦委員長、川西安喜副委員長をお招きし、最近の国際動向とASBJの国際対応の方針についてご講演いただきます。

なお、本年は、本学会の会長、評議員、および学会賞審査委員の選挙の年にあたっています。9月8日と9日にオンラインで投票を行いますので、会員の皆様におかれましては、ぜひ投票していただきますようご案内申し上げます。

最後になりましたが、本大会開催にあたりまして多大なご支援とご協力をいただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。

目 次

大会全体スケジュール	2
理事会・評議員会等スケジュール	5
大会詳細スケジュール	
大会第1日目 9月8日(水)	6
大会第2日目 9月9日(木)	7
大会第3日目 9月10日(金)	14
特別委員会報告	21
国際セッション	29
自由論題報告Ⅰ・院生セッションⅠ	37
スタディ・グループ報告	71
統一論題報告	79
自由論題報告Ⅱ・院生セッションⅡ	111
統一論題討論	145
ASBJ セッション	147

大会全体スケジュール

第1日目 9月8日(水)

12:30～16:30	会長および評議員選挙 日本会計研究学会賞審査委員選挙
13:00～14:30	会員総会
14:40～15:20	特別委員会報告(中間報告) 奥村 雅史 委員長
15:30～16:10	特別委員会報告(中間報告) 松本 祥尚 委員長
16:20～17:00	特別委員会報告(最終報告) 鈴木 一水 委員長

※司会者・報告者等の氏名は敬称を略しております。

※選挙は電子投票方式により実施します。

※特別委員会報告の報告資料は大会ウェブサイトにて事前に関連できます。

※会員総会および特別委員会報告は web 会議システム Zoom により実施いたします。Zoom のミーティング ID などは追ってお知らせいたします。

第2日目 9月9日(木)

午前の部

9:00～13:00 会長および評議員選挙
日本会計研究学会賞審査委員選挙

9:00～12:30 国際セッション

9:30～11:50 自由論題報告 I
院生セッション I

【昼食休憩】

午後の部

13:00～13:40 スタディ・グループ 中間報告
浅見 裕子 主査

13:45～14:25 スタディ・グループ 中間報告
中尾 悠利子 主査

14:30～15:10 スタディ・グループ 最終報告
林 隆敏 主査

15:25～17:15 統一論題報告

第1会場 「外貨換算会計の再考」

第2会場 「管理会計思考の発展と継承」

第3会場 「KAM など新たな監査報告」

第4会場 「先端複合研究の動向」

※選挙は電子投票方式により実施します。

※国際セッション、自由論題報告、および院生セッションの報告資料は大会ウェブサイトにて事前に閲覧できます。

※国際セッション、自由論題報告、および院生セッションは web 会議システム Zoom により実施いたします。
Zoom のミーティング ID などは追ってお知らせいたします。

※スタディ・グループ報告および統一論題報告の報告資料は大会ウェブサイトにて事前に閲覧できます。

※スタディ・グループ報告および統一論題報告は web 会議システム Zoom により実施いたします。Zoom の
ミーティング ID などは追ってお知らせいたします。

第3日目 9月10日(金)

午前の部

9:30～11:50 自由論題報告Ⅱ
 院生セッションⅡ

【昼食休憩】

午後の部

13:00～14:45 統一論題討論
 第1会場 「外貨換算会計の再考」
 第2会場 「管理会計思考の発展と継承」
 第3会場 「KAM など新たな監査報告」
 第4会場 「先端複合研究の動向」

15:00～16:30 ASBJ セッション

※自由論題報告、院生セッション、統一論題報告、および ASBJ セッションの報告資料は大会ウェブサイトにて事前に閲覧できます。

※自由論題報告、院生セッション、統一論題討論、および ASBJ セッションは web 会議システム Zoom により実施いたします。Zoom のミーティング ID などは追ってお知らせいたします。

理事会・評議員会等スケジュール

9月7日(火)

10:00～12:00 理事会

9月8日(水)

10:00～12:00 評議員会

9月9日(木)

13:00～ 会長・評議員選挙管理委員会

9月10日(金)

12:00～13:00 新評議員会・理事選挙
(予定)

後日(予定) 新旧合同理事会・新理事会

※新評議員会・理事選挙については、評議員選挙の開票が終わり次第、新評議員(大会参加申込時にご登録いただいたメール・アドレス)に速やかにご連絡いたします。

※新旧合同理事会・新理事会は後日開催する予定です。
該当者には追ってご連絡いたします。

※大会ウェブサイトにて情報は随時更新いたします。

大会詳細スケジュール

第1日目 9月8日(水)

会員総会 13:00～14:30

特別委員会報告 14:40～17:00

特別委員会報告(1) 14:40～15:20

特別委員会報告(2) 15:30～16:10

特別委員会報告(3) 16:20～17:00

(報告時間 各30分 質疑応答 各10分)

特別委員会報告(1)

「情報関連技術の進展と財務会計に関する研究」(中間報告)

司会者: 中條 祐介(横浜市立大学)

委員長: 奥村 雅史(早稲田大学)

特別委員会報告(2)

「開示情報に対する保証の枠組みに関する研究」(中間報告)

司会者: 朴 大栄(桃山学院大学)

委員長: 松本 祥尚(関西大学)

特別委員会報告(3)

「税制が企業会計その他の企業行動に及ぼす影響に関する研究」(最終報告)

司会者: 古田 美保(甲南大学)

委員長: 鈴木 一水(神戸大学)

第2日目 9月9日(木)

国際セッション 9:00～12:30

オープニング 9:00～9:25

報告(1) 9:30～10:00

報告(2) 10:05～10:35

報告(3) 10:40～11:10

(休憩 15分)

報告(4) 11:25～11:55

報告(5) 12:00～12:30

(報告時間18分・討論6分・質疑6分)

全体司会：中野 誠(一橋大学)

オープニング

- KAA・TAA・JAAの各会長よりスピーチ
- MOUの歴史

野口 晃弘(名古屋大学)

司会者：金 鉉玉(東京経済大学)

(1) Can Ethics and Economic Incentives Mitigate Aggressive Judgements and Decisions of Tax Preparers?

Ji Seon Yoo (Chonnam National University)

(2) A Framework for Auditing Crypto Asset Ecosystem

Sheng-Feng Hsieh (National Taiwan University)

(3) R&D Investment Horizon and Firm Performance : Evidence from Japan

顧 俊堅(筑波大学)

司会者：滝西 敦子(上智大学)

(4) Does Social Media Improve Investors' Trading Decisions?

Hyunkwon Cho (Sungkyunkwan University)

(5) Audit Legal Liability and Stock Price Crash Risk : Evidence from Organizational Transformation of Chinese Audit Firms

Chia-Hsiang Weng (National Chengchi University)

※国際セッションでは各報告に討論者が付く予定です。

自由論題報告 I	9:30～11:50	第1会場～第7会場
院生セッション I	9:30～11:50	第8会場
報告(1)	9:30～10:00	
報告(2)	10:05～10:35	
	(休憩 10分)	
報告(3)	10:45～11:15	
報告(4)	11:20～11:50	(報告時間 各20分 質疑応答 各10分)

第1会場

司会者：佐藤 信彦(熊本学園大学)

- (1) 混合測定属性モデルの漸進的変容
—1980年代以降の金融商品会計を中心に—

首藤 洋志(文教大学)

- (2) 連結基礎概念と概念フレームワーク

山下 奨(武蔵大学)

司会者：池田 幸典(愛知大学)

- (3) 暗号資産の評価を巡る検討

柳田 宗彦(モーニングスター株式会社・筑波大学大学院)

- (4) LIBOR 公表停止によるヘッジ会計への影響

李 焱(駒澤大学)

第2会場

司会者：首藤 昭信(東京大学)

- (1) 経営者の自信過剰と利益平準化

積 惟美(亜細亜大学)

塚原 慎(帝京大学)

寺嶋 康二(千葉商科大学)

- (2) アスピレーションと研究開発活動

野間 幹晴(一橋大学)

敷田 亮子(一橋大学大学院)

司会者：音川 和久(神戸大学)

- (3) コストの下方硬直性に関する指標の価値関連性

井上 謙仁(近畿大学)

北田 智久(近畿大学)

濱村 純平(桃山学院大学)

(4) 業績予想の修正に関する事例研究 ―小売業を中心として―

行待 三輪(京都産業大学)
吉岡 正道(フランス行動科学学際研究所)
柴崎 陽平(あずさ監査法人)
末原 聡(杏林大学)

第3会場

司会者：越智 信仁(関東学院大学)

(1) 企業グループ・ガバナンスへの概括的アプローチ ―「グループ・ガバナンス・システムに関する実務指針」の批判的考察―

長田 美悠子(中央学院大学)

(2) 平成26年コーポレート・ガバナンス・コードが 上場企業の社外取締役比率に与えた影響とその経済的帰結

柳田 具孝(東京理科大学)

司会者：円谷 昭一(一橋大学)

(3) 複数大株主が投資の効率性に与える影響

太田 裕貴(静岡産業大学)

第4会場

司会者：澤邊 紀生(京都大学)

(1) 管理会計が後継者と従業員間の信頼および従業員のパフォーマンスに与える影響

近藤 大輔(立正大学)
黒木 淳(横浜市立大学)
浅石 梨沙(西武文理大学)

(2) 業績管理会計は利益率の水準と制御に影響を与えるか？ ―中小企業を対象とした定量的分析―

尻無濱 芳崇(神奈川大学)
地多 佑介(筑波大学)
岡田 幸彦(筑波大学)

司会者：小沢 浩(名古屋大学)

(3) ダイナミック AIS ケイパビリティと BSC の 4 要素を考慮した AIS 評価指標との相関分析

山矢 和輝(帝京大学)
岡田 幸彦(筑波大学)

(4) 組織レジリエンスと MCS 研究

吉川 晃史(関西学院大学)
望月 信幸(熊本県立大学)
木村 眞実(東京都市大学)
工藤 栄一郎(西南学院大学)

第5会場

司会者：田坂 公(福岡大学)

(1) ライフサイクルコストイングの新展開

岡野 憲治(松山大学)

(2) 建築一式工事会社のオープンブック・マネジメントの事例研究

菅本 栄造(青山学院大学)

司会者：窪田 祐一(南山大学)

(3) 中小企業における資本予算のコンフィギュレーション
—質的比較分析(QCA)による探索的研究—

牧野 功樹(釧路短期大学)

(4) 製造における効果的な管理会計システムの組み合わせ：QCAによる探求

新井 康平(大阪府立大学)

第6会場

司会者：宮地 晃輔(長崎県立大学)

(1) 社会福祉法人における統合報告書の導入状況と将来展望
—名古屋市社会福祉法人の先進的な事例を中心に—

平田 沙織(開志専門職大学)

(2) 地方公共団体の財政健全化における行政コスト情報の機能

大塚 成男(熊本学園大学)

司会者：日野 修造(中村学園大学)

(3) 学校法人会計基準と大学の大衆化

林 兵磨(大阪産業大学)

(4) 会計における情報ニーズと経営責任への対応：
国立大学法人会計基準の改訂を例にして

山本 清(鎌倉女子大学)

第7会場

司会者：永田 京子(東京工業大学)

(1) Determinants of Audit Partners Continuity and Its Effects on Audit Outcomes

Frendy (名古屋商科大学)

武田 史子(東京大学)

(2) The Tone in Narrative Disclosures and Financial Fundamentals:
Evidence from Japanese Firms Listed on the U. S. Stock Exchange

Masumi Nakashima (Bunkyo Gakuin University)

司会者：藤井 誠(日本大学)

(3) 多国籍企業の規範的な納税行動の理論化
—BEPS 規制活動の限界と企業のタックス・フェアネス概念による
自律的な課題解決の可能性

市場 哲也(関西学院大学大学院)

(4) 監査報酬と租税負担削減行動、及び税務リスク

大沼 宏(中央大学)

第8会場(院生セッション)

司会者：石川 博行(大阪市立大学)

(1) 決算短信に対する投資家の反応は上昇しているのか

地主 純子(一橋大学大学院)

(2) アクティビズムの長期外部規律付け効果について

井口 益男(東京都立大学大学院)

浅野 敬志(東京都立大学)

司会者：真田 正次(京都橘大学)

(3) FASB 新概念フレームワーク・プロジェクトにおける忠実な表現の考察
—FASB の準政府機関化と関係づけて—

川津 大樹(専修大学大学院)

(4) Fraudulent financial reporting and associated factors:
An analysis of listed companies in China

魏 巍(東京都立大学大学院)

浅野 敬志(東京都立大学)

スタディ・グループ報告 13:00～15:10

スタディ・グループ報告(1) 13:00～13:40

スタディ・グループ報告(2) 13:45～14:25

スタディ・グループ報告(3) 14:30～15:10

(報告時間 各30分 質疑応答 各10分)

スタディ・グループ報告(1)

「のれんの会計処理に係る包括的考察」(中間報告)

司会者：戸田 龍介(神奈川大学)

主 査：浅見 裕子(学習院大学)

スタディ・グループ報告(2)

「AI技術の活用によるESG情報の評価に関する研究」(中間報告)

司会者：松本 敏史(早稲田大学)

主 査：中尾 悠利子(公立鳥取環境大学)

スタディ・グループ報告(3)

「財務諸表監査の基礎概念に関する研究」(最終報告)

司会者：山崎 秀彦(専修大学)

主 査：林 隆敏(関西学院大学)

統一論題報告 15:25～17:15

第1会場～第4会場

統一論題テーマ

『新時代の会計』

座長解題

報告(1)

報告(2)

報告(3)

(報告時間 各30分)

第1会場

「外貨換算会計の再考」

座長：秋葉 賢一(早稲田大学)

「解題：外貨換算会計の再考」

報告(1)：齋藤 真哉(横浜国立大学)

「外貨換算会計に係る計算構造からの検討」

報告(2)：草野 真樹(京都大学)

「外貨換算会計における実証研究」

報告(3)：持永 勇一(EY 新日本有限責任監査法人)

「外貨換算会計に係る適用環境変化からの考察」

第2会場

「管理会計思考の発展と継承」

座長：園田 智昭(慶應義塾大学)

「解題：管理会計思考の発展と継承について」

報告(1)：庵谷 治男(東洋大学)

「アメーバ経営における管理会計システムの拡張性」

報告(2)：高久 隆太(慶應義塾大学)

「移転価格課税が管理会計に与える影響」

報告(3)：篠田 朝也(岐阜大学)

「管理会計における人間心理の重要性」

第3会場

「KAM など新たな監査報告」

座長：松本 祥尚(関西大学)

「解題：拡張された監査報告書の情報価値」

報告(1)：蟹江 章(青山学院大学)

「フランスにおける監査報告書の改革
—KAM の記載にどんな効果があったか?—」

報告(2)：小松 義明(明治大学)

「KAM を中心とする監査報告の拡充
—ドイツにおける制度的対応の状況—」

報告(3)：高田 知実(神戸大学)

「監査報告書研究の動向
—海外先行研究レビューからの知見—」

第4会場

「先端複合研究の動向」

座長：坂上 学(法政大学)

「解題：先端複合研究の動向」

報告(1)：小形 健介(大阪市立大学)

「会計規制領域における先端複合研究」

報告(2)：椎葉 淳(大阪大学)

「仕訳分析における先端複合研究」

報告(3)：村上 裕太郎(慶應義塾大学)

「国際課税における先端複合研究」

第3日目 9月10日(金)

自由論題報告Ⅱ	9:30～11:50	第1会場～第8会場
院生セッションⅡ	9:30～11:50	第9会場
報告(1)	9:30～10:00	
報告(2)	10:05～10:35	
	(休憩 10分)	
報告(3)	10:45～11:15	
報告(4)	11:20～11:50	(報告時間 各20分 質疑応答 各10分)

第1会場

司会者：加賀谷 哲之(一橋大学)

(1) 利益 = リターンの非対称性の決定要因と条件付保守主義の新しい尺度について

山下 知晃(福井県立大学)

(2) 時価会計の拡大と金融負債

増村 紀子(兵庫県立大学)

司会者：大日方 隆(東京大学)

(3) 決算発表に対する社債市場の反応

向 真央(久留米大学)

乙政 正太(関西大学)

(4) 私的情報確率(PIN Variable)の比較：

実証会計イベントスタディーで使用すべきPINは何か？

竹原 均(早稲田大学)

村宮 克彦(大阪大学)

第2会場

司会者：中野 貴之(法政大学)

(1) 経営者交代が有価証券報告書の記述情報に与える影響について

矢澤 憲一(青山学院大学)

伊藤 健顕(甲南大学)

金 鉉玉(東京経済大学)

(2) Word2Vec を用いた会計測定強度の研究

矢澤 憲一(青山学院大学)

司会者：吉見 宏(北海道大学)

(3) 公共部門における会計研究：40年間の文献に対する潜在意味解析

黒木 淳(横浜市立大学)

廣瀬 喜貴(大阪市立大学)

(4) わが国の統一的基準に基づく公会計財務諸表が有する増分情報と
地方債スプレッドとの関連性分析

原口 健太郎 (西南学院大学)

丹波 靖博 (西南学院大学)

第3会場

司会者：梶原 武久 (神戸大学)

(1) 需要変動の予測可能性がコスト構造に与える影響

福嶋 誠宣 (近畿大学)

加藤 大智 (神戸大学大学院)

濱村 純平 (桃山学院大学)

(2) 戦略タイプの特性と利益目標との関係の検証

矢内 一利 (青山学院大学)

司会者：市原 勇一 (北九州市立大学)

(3) Unintended consequences of budget participation and performance reporting:
An Experimental Study

澤田 雄介 (新潟医療福祉大学)

田口 聡志 (同志社大学)

第4会場

司会者：宮宇地 俊岳 (追手門学院大学)

(1) Market reaction to employee downsizing disclosure in Japan

Keishi Fujiyama (神戸大学)

Yusuke Fukaya (神戸大学)

Keejae Hong (Central Michigan University)

Toshio Moriwaki (北九州市立大学)

(2) Investors' Behavior in the Pre-Earnings Announcement Period:
Evidence from the Bid-Ask Spreads and Limit Order Cancellations

森脇 敏雄 (北九州市立大学)

司会者：太田 康広 (慶應義塾大学)

(3) 連結会計の経済分析：所有権アプローチ

青木 康晴 (一橋大学)

澤井 康毅 (埼玉大学)

(4) Does stigma against tax avoidance improve social welfare ?

濱村 純平 (桃山学院大学)

栗田 健一 (九州大学)

第5会場

司会者：向山 敦夫(大阪市立大学)

(1) SASB サステナビリティ会計基準における財務的インパクトに関する考察

植田 敦紀(専修大学)

(2) FASB および SASB における会計基準形成における authoritative support の意義

竹森 一正(中部大学)

司会者：高木 正史(別府大学)

(3) シェアリングエコノミーをめぐる会計問題

—Airbnb の事例をもとに—

陳 釗(熊本都市政策研究所)

(4) 五勘定論者とアメリカ式簿記法：一帳簿制の変遷を中心にして

磯本 光広(鎮西学院大学)

第6会場

司会者：八重倉 孝(早稲田大学)

(1) 日本企業の財務制限条項において会計利益が果たす役割

中村 亮介(筑波大学)

河内山 拓磨(一橋大学)

(2) 「会計場」における企業運動方程式

佐藤 清和(金沢大学)

司会者：若林 公美(甲南大学)

(3) IFRS 適用日本企業における開発資産の資産性に関する実証研究

奥原 貴士(四日市大学)

(4) 確定給付企業年金における年金資産配分に対する課税の影響

高橋 隆幸(横浜市立大学)

野間 幹晴(一橋大学)

岡川 真実(税理士法人山田&パートナーズ)

第7会場

司会者：浅野 信博(大阪市立大学)

(1) 会計不正の要因及び発見・防止の機能について
—実態調査の観点から—

佐久間 義浩(東北学院大学)

町田 祥弘(青山学院大学)

(2) 監査パートナーによる監査品質マネジメント：
メカニズムと選好にかかるフィールドからの証拠

亀岡 恵理子(東北大学)

司会者：上妻 京子(関西大学)

(3) 税効果会計における利益計画と監査上の判断

吉岡 正道(フランス行動科学研究所)

若林 恒行(若林恒行公認会計士事務所)

第8会場

司会：宗田 健一(鹿児島県立短期大学)

(1) クラウド会計を利用した会計教育の考察
—高校での参与観察を通して—

加納 慶太(県立広島大学)

菅原 智(関西学院大学)

潮 清孝(中央大学)

(2) 商業高校におけるクラウド会計教育の実践：実証研究

菅原 智(関西学院大学)

加納 慶太(県立広島大学)

潮 清孝(中央大学)

小寺 晶美(すばる高等学校)

司会者：成川 正晃(東京経済大学)

(3) 財務諸表は長期借入金が増加予測に資するのか？

岡田 幸彦(筑波大学)

罇 涼稀(筑波大学)

秦 涼太(筑波大学)

今倉 暁(筑波大学)

櫻井 鉄也(筑波大学)

(4) PEPPOL は中小企業の事務生産性向上と、DX 対応に貢献できるかを検討する

岸田 賢次(名古屋学院大学)

(1) 非営利組織の非常勤理事にかんする実証分析
— 社会福祉法人を対象とした分析 —

夏吉 裕貴(横浜市立大学大学院)

(2) 設備投資に与える税制の影響

安間 陽加(神戸大学大学院)

統一論題討論 13:00~14:45

第1会場~第4会場

統一論題全体テーマ

『新時代の会計』

第1会場

「外貨換算会計の再考」

座長：秋葉 賢一(早稲田大学)

討論者：齋藤 真哉(横浜国立大学)

草野 真樹(京都大学)

持永 勇一(EY 新日本有限責任監査法人)

第2会場

「管理会計思考の発展と継承」

座長：園田 智昭(慶應義塾大学)

討論者：庵谷 治男(東洋大学)

高久 隆太(慶應義塾大学)

篠田 朝也(岐阜大学)

第3会場

「KAM など新たな監査報告」

座長：松本 祥尚(関西大学)

討論者：蟹江 章(青山学院大学)

小松 義明(明治大学)

高田 知実(神戸大学)

第4会場

「先端複合研究の動向」

座長：坂上 学(法政大学)

討論者：小形 健介(大阪市立大学)

椎葉 淳(大阪大学)

村上 裕太郎(慶應義塾大学)

ASBJ セッション 15:00～16:30

「最近の国際動向と ASBJ の国際対応の方針」

小賀坂 敦(企業会計基準委員会 委員長)

川西 安喜(企業会計基準委員会 副委員長)

A series of horizontal dashed lines for writing.

特別委員会報告

第1日目 9月8日(水)

14:40～17:00

特別委員会報告(1) 14:40～15:20

特別委員会報告(2) 15:30～16:10

特別委員会報告(3) 16:20～17:00

(報告時間 各30分 質疑応答 各10分)

特別委員会中間報告
情報関連技術の進展と財務会計に関する研究

委員

梅澤俊浩（龍谷大学）	海老原崇（武蔵大学）	大鹿智基（早稲田大学）
奥村雅史（早稲田大学）*	音川和久（神戸大学）	坂上学（法政大学）
首藤昭信（東京大学）	スズキトモ（早稲田大学）	遠谷貴裕（横浜商科大学）
中野貴之（法政大学）	平井裕久（神奈川大学）	森脇敏雄（北九州市立大学）
若林利明（上智大学）		

* 委員長

1. 研究の背景と目的

情報技術とは、一般に、情報を取得、加工、保存、伝送するための技術であり、コンピュータやネットワークといった情報処理に関連する技術の総称である（IT用語辞典「e-Word」および「バイナリ」参照）。本委員会では、情報技術だけではなく、情報技術を実務に応用した事例やサービス等も含めて情報関連技術と呼んでいる。

情報関連技術の進展は、財務会計を取り巻く環境に多面的かつ重層的に影響を及ぼしている。たとえば、インターネットの普及や情報開示におけるXBRLの導入は会計情報の利用者における利便性を高め、FacebookやTwitterなどのSNSは企業と投資家あるいは投資家間のコミュニケーションを変容させている。投資活動においては、インターネットによる株式売買が日常になり、AIを利用した投資サービスやアルゴリズム取引が存在感を増している。さらに、会計の被写体である企業自身は、DX（デジタルトランスフォーメーション）を加速し業務の効率化や企業成長を図っている。

情報関連技術の進展は、会計を取り巻く環境に連続的・非連続的变化を引き起こしている。このような環境の変化は財務会計の機能にどのような影響をもたらしてきたか、さらに、将来的に財務会計の機能にどのような影響を及ぼすのか。これが本委員会における基本的な問題意識である。

2. 本委員会での研究の進め方と進捗状況

本委員会では、以下の3つのプロジェクトを設けて研究を進めている。

(1) 実証研究プロジェクト

実態を理解することは、会計に関する研究を遂行するうえでも、会計規制を検討するうえでも、きわめて重要な前提である。このプロジェクトでは、情報関連技術が財務会計に与える影響について実証的に研究することによってその実態の解明を試みる。具体的には、情報関連技術が財務会計に与える影響を多面的に分析するために、3つの分析対象、すな

A series of horizontal dashed lines for writing.

日本会計研究学会第80回大会準備委員会

委員長 大石 桂一(九州大学)
委員 小津 稚加子(九州大学)
丸田 起大(九州大学)
潮崎 智美(九州大学)
原口 健太郎(西南学院大学)
新改 敬英(熊本学園大学)
水野 真実(熊本学園大学)



写真提供：九州大学

日本会計研究学会 第80回大会準備委員会

〒819-0367 福岡市西区元岡744
九州大学大学院経済学研究院
大石桂一研究室

E-mail: jaa2021kyushu@gmail.com
<http://www.jaa2021.net/>